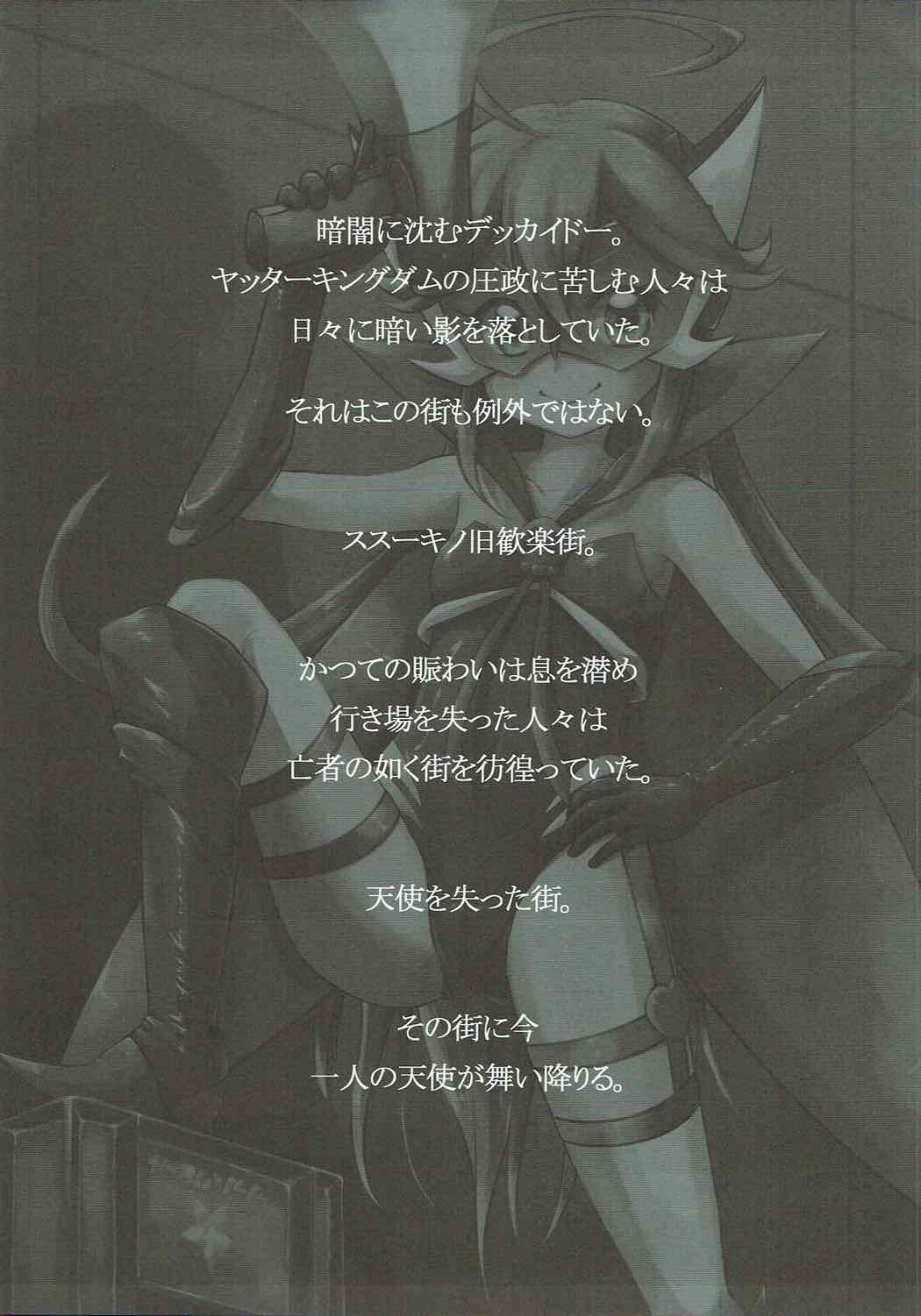




天使の囁き

「大天使ドロジョ様のうっすー1本」
夜ジャッターマンファンブック
by.ぽんぽん少女牧場

DOJIN
R18
成人向け



暗闇に沈むデッカイドー。
ヤッターキングダム
の圧政に苦しむ人々は
日々に暗い影を落としていた。

それはこの街も例外ではない。

ススキーノ旧歓楽街。

かつての賑わいは息を潜め
行き場を失った人々は
亡者の如く街を彷徨っていた。

天使を失った街。

その街に今
一人の天使が舞い降りる。

★まえがき★

こんばんは門巻です。
さて今回は夜ノヤッターマンを
描かせていただきました。
まさかのロリドロジョ様。
すばらしかったですね。
なんでこう仮面少女ってぐぐっと
くるんでしょう。

傲岸不遜、
ではないですが強気で元気な女の子が
×××されているのはS心をくすぐら
れます。
とはいえ今回はノリのいい明るい感じ
の内容にしてみました。
ドロジョ様には笑っていてほしいで
すからね！（輪姦もの描いとしてなにを
言うか・・・）

ではでは、題名どおりうっすーい本です
が最後までお付き合い下さいませ。



我らの桃源郷だったここ
ススキーノから天使たちが
消えて久しい。それもこれも憎き
ヤツターマンのせいじゃ。しかし
神は我々にすばらしい天使を
遣わせてくださった。それが打倒
ヤツターマンを掲げるこの御方
大天使ドロンジョ様なのじゃ！

うお

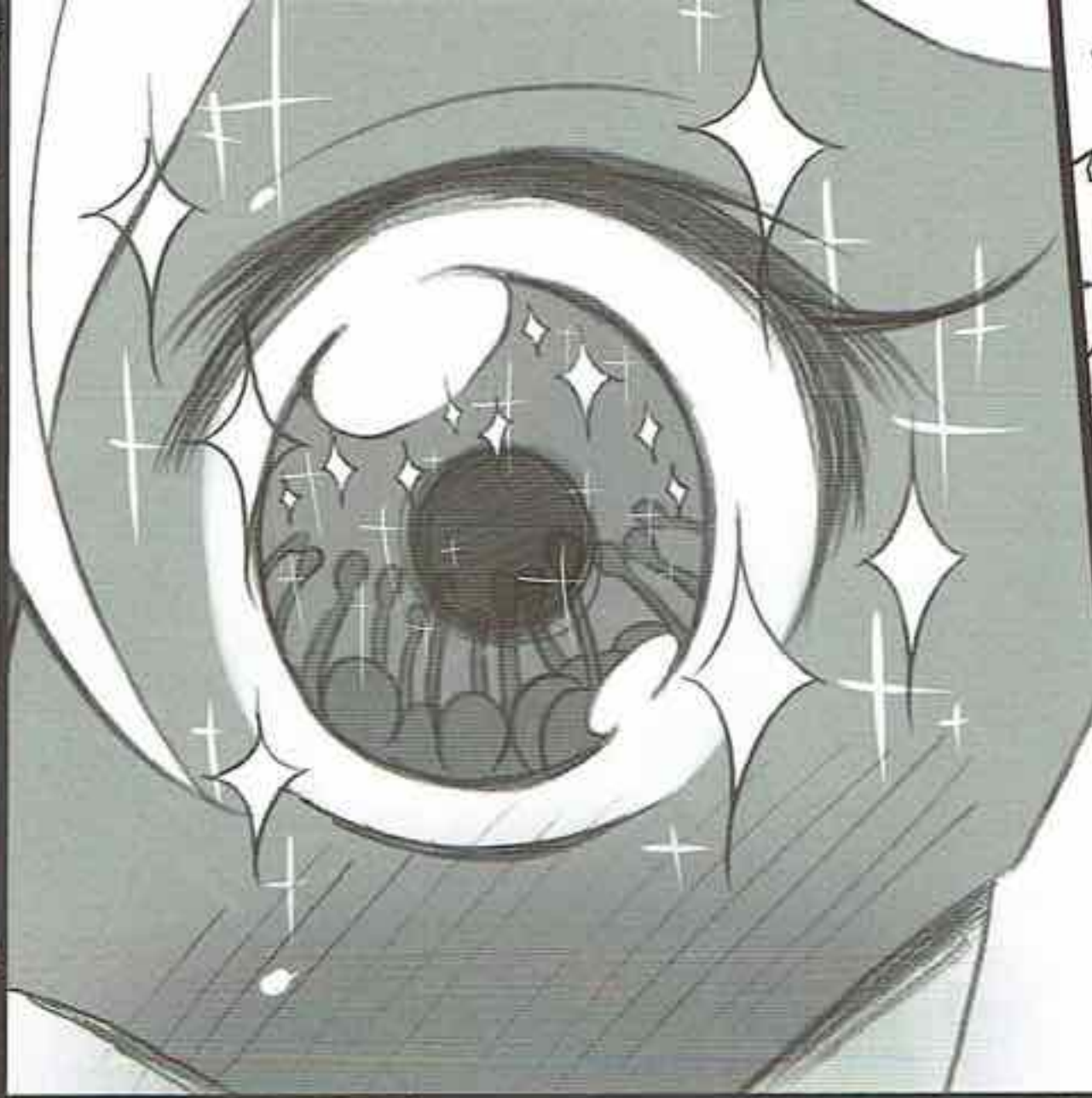
ささっ
ドロンジョ様
皆にお言葉をお願い
しますじゃ

えっ？
えつと…

スッ……

わみ、みんなー！
私がドロンジョだよー！！





なんだい！
このドロンジョが何で
もやっつてあげるよ！

ドロンジョ様
聞いてくだされ
ちよいとお願いが
ありますじゃ



ヤッターマンなんて
でけちよんけちよんにして
こびんしてやるんだからー！

ミロノリョ様？！
いいぞー！
ヤッターマンー



なんだかよくわから
ないけどみんなを
癒してあげればい
んだね！

おおありがたきお言葉
ならば是非ヤッターマンに
すべてを奪われてしまつた
我らをドロンジョ様の御体
でもって癒していただき
たい

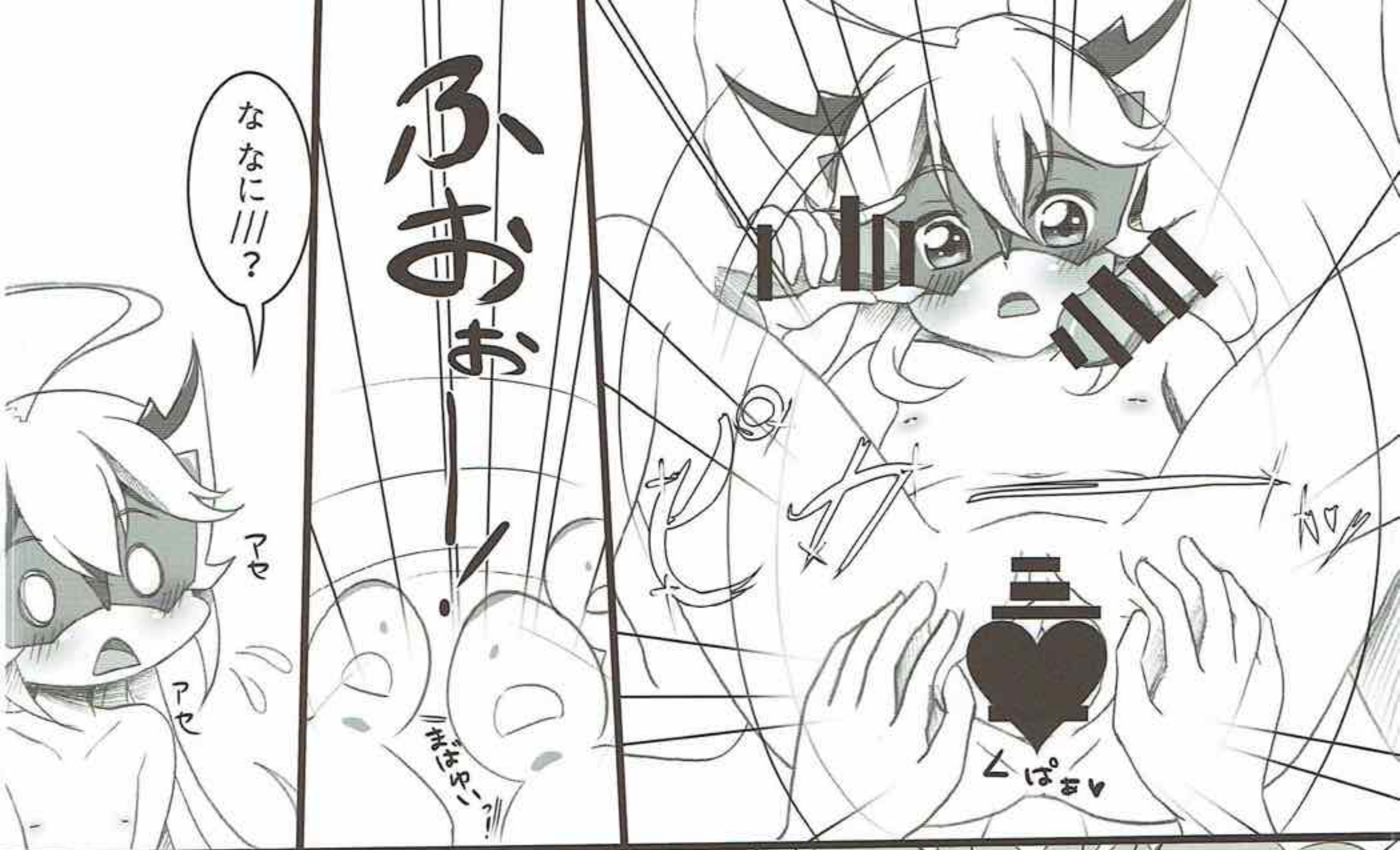


みんなー！
私がみんなを癒して
あげるから
ドーンときなさいー！

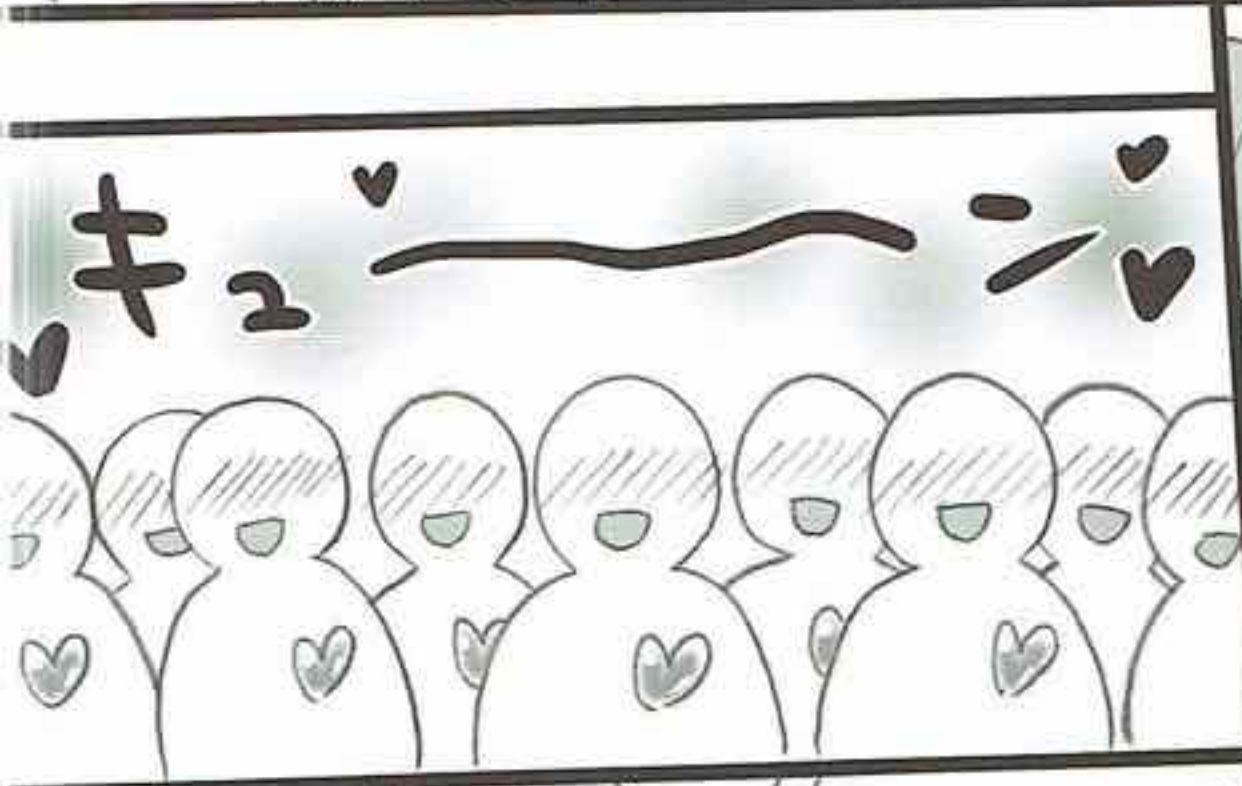


えへへ///





ふ、お、お



そろそろこれをお入れしても？

ふえ？ 入れるってどーに？

それはもちろん、

癒しの肉壺にですよっ！

ひぎやあい !!!??

ホコホ

ズッ

キツ過ぎだぜドロロンジヨ様！

あ……ああうう……





ふぐうっ!!?

キリッ

キリッ

キリッ



キラリ

キラリ

そっかあ...
よかつたあ...
!!!



ハァ

ハァ

ど、どうだった?
私の肉壺ってやつで癒された?



正に
天使様じゃ!



ドキュ〜ン

は、はい!
すごく
癒された!
ました!



ハァ



♡ほら♡
♡みんなも癒してあげるから♡

♡どんどんおいでえ♡







夢……？

よく寝てた
まんねん

ん……
おは……よ？

おはようござい
ます
ドロ
ンジ
ョ様

ドロ
ンジ
ョち
ゃん
寝
言
で
笑
っ
た
の
？
い
い
夢
み
て
た
の
？



み
ん
な
ー
！
魚
焼
け
た
よ
ー
！！

あ
ー
っ
！



そ
っ
か
……
夢
だ
っ
た
ん
だ



今
日
も
一
日
が
ん
ば
る
よ
ー
っ
！

さ
あ
！



ん
っ
……
！

ん
っ
……

END.

ガリナの用意してくれた魚も食べ終わり、焚き火も消して出発をしようとしているドロンジヨたちを森の影から窺う者がいた。

「見つけたぞドロンボーめ」

それはヤッター兵の指揮官だ。

双眼鏡でドロンボーの動きを観察しながら後に控えているヤッター兵に指示を出す。

「お前たち左右から回り込むようにしてやつらを囲い込むぞ！」

しかし後に控えているはずのヤッター兵たちからの返事はない。「何をやってている！早く動きはじめ……ろ？」

いらだつて振り返ってみれば、控えていたはずのヤッター兵たちは破壊され、山のように積み上げられていた。

その光景をみて指揮官は混乱する。

今のヤッターキングダムにおいて我々に楯突く者たちはドロンボー以外にいないはずだ。

そしてそのドロンボーたちは今まさに目の前にいる。

そうなるとドロンボー以外にもヤッターキングダムに逆らう者が出てきたということだ。

きつとそれはうず高く盛られている壊れたヤッター兵を囲んでいる男たちだろう。

「お、お、お前ら……何をやったのか理解して……」

言い終わる前に指揮官も男たちが手に持つ棒や石であつという間に破壊されてしまった。

「ふむ、こんなもんじゃろうて」
禿げ頭で立派な白ヒゲを蓄えた老人が髭をなでつけながら満足そうに言う。

他の男たちの顔にも後悔のない自信に満ちたいい顔をしていた。

「ドロンジヨ様、わしらはあなた様に勇気と希望をたくさんもらった。次はわしらが恩に報いる番じゃ。陰ながら助力いたしますぞっ」

こうしてドロンジヨに勇気と希望をもらったススキーノは他よりも一足先に暗闇から明けた。
きつと再びたくさんの天使たちが集まる日も近いだろう。

★あとかき★

短い間お付き合いいただきありがとうございました。
いつものごとく最後は締め切りに駆け足で間に合わせるという状態でしたね、結局Σd(´・w<`)☆
なにより間に合ってよかったです。
今回は鉛筆で清書してやりましたがやはり鉛筆で綺麗描くのもとても難しい。。。
PCでペン入れするよりもとても早いのでその辺は大変助かりましたがw

さて次回のお話を少々。
諸事情によりエロを描くのが難しくなったのもうエロは描かないかなーといったところでして、
相方とはまっているグラブルファンタジーの微エロなショートショート盛り合わせでも描こうかなという話になっています。
まだ話し合いも浅いので実際はどうなるかわかりませんがグラブルは確定かなーと思います。

冬コミまでは時間ないですからね。。。
次こそこつこつ原稿描いて寝不足なくx切りに間にあわせたいものですw

長くなりましたがここまで読んでいただきありがとうございました。
また次の機会がありましたらよろしくお願いします。
それでは！

★
おくづけ

発行日:2015年08月16日

発行者:ぽんぽん少女牧場

門巻森乃介

mail:hatsuhika@gmail.com

pixiv:id=236059

印刷所:(有)ねこのしっぽ様



★
daitenshidoronjosamanoussu-ihon
yorunoyatta-man fanbook
by.ponponyoujobokujou

